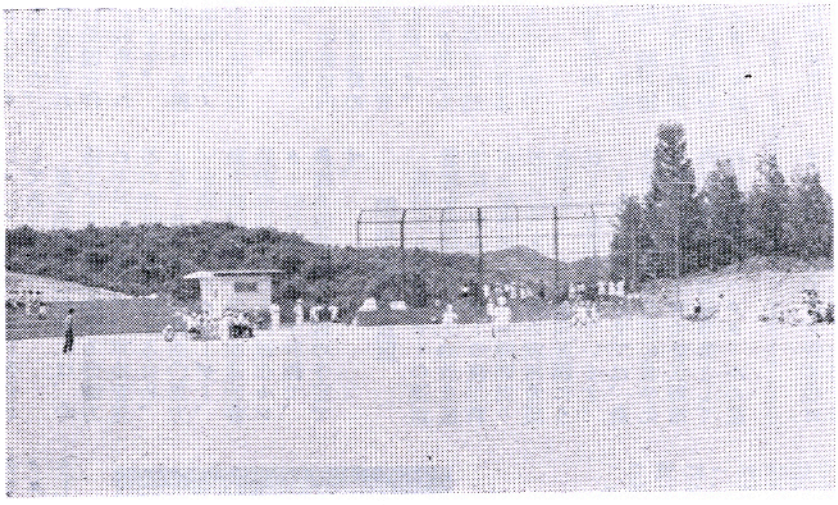
広報
さめがわ

第130号
昭和39年
9月20日発行

編集兼発行
鮫川村役場
鮫川村公民館
塙町　佐藤印刷所



したしまれる村民運動場

深みゆく秋とともに、東京オリンピック大会も、間近にせまり、青少年のスポーツ熱は一段と高まつてきました。

村民運動場も毎日のようにいろいろな競技大会がもたれ、元気のよい歓声が山山にこだましています。

写真は少年ソフトボール大会をたのしむ各小学校の少年選手たちの活やくぶり。



研修する農村後継者たち

毎月青年研修所で、これからの農業を勉強している30名の青年諸君は、今月は新しい農業を現地で学ぶため、県立農業試験場に出かけ、研究員の説明をきき、圃場や農機具を見学し、わが村わが家の農業をどのように改善すべきかについて討議しました。

初秋

台風十四号はぐつついた割には本土への影響が少なかつたが、そのあとが長雨と低温で、たばこや一部の稲作に思わぬ被害をうけました。

それでも九月に入つてからは、久しぶりに澄んだ青空を見られる日もあり、いつか訪れた秋の深さを感じるようになりました。

みのりの秋、スポーツの秋おとなも子どもも忙しい季節です。

気象の変化もはげしいので健康には十分注意しましょうまた災害の来やすい時期であることも忘れずに、対策を講じておきましょう。

敬老会　九月十五日
戦没者追悼式九月二十四日

9月の人口と世帯

人口	7.730	
男	3.825	（－2）
女	3.905	（＋2）
世帯数	1.236	（－3）

新らしい農業

鮫川村農業協同組合

鮫川農協では、村の産業経済のセンターとして、農業の画期的発展をはかるため、土地基盤の整備用ブルドーザー（一一トン）を購入し、すでに農業構造改善事業の集団桑園造成をはじめ、区画整理や草地造成等に活躍していることは御承知のとおりです。

更に四五〇戸養蚕家の現在もっている七〇ヘクタールの既設桑園と、農業構造改善事業で造成される集団桑園を合わせ一〇〇ヘクタールを越える桑園の近代化をはかるため動力溝堀機も購入しました。

これは桑の植付に使用されることは勿論、近代桑園を作る場合、桑の改植に利用されることをおすすめします。

また養蚕業近代化のため稚蚕共同飼育所を、中野字宿ノ入地内と、渡瀬字中山地内の二ケ所に建設しました。

西野、西山、中野、東野、富田の養蚕家には、中野地内の飼育所を、渡瀬、青生野の養蚕家には、渡瀬地内の飼育所を利用して頂く計画です。

この飼育所は、二ケ所とも年間一、〇〇〇箱を掃立て三令まで飼育することのできる県内最大の規模をもつものであります。

飼育の万全を期するため、貯桑庫、蚕室クーラー、自動温度調節器、排気扇、動力挫桑機、動力防除機等近代的設備を完備し、稚蚕専用桑園をそれぞれ一・一ヘクタール計二・二ヘクタールを開墾造成してあります。

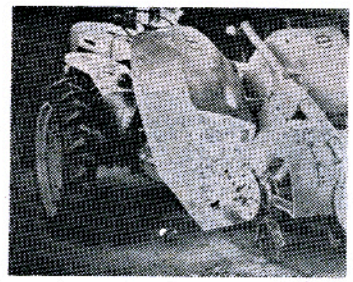
更に昭和四〇年度には、今後ますます深刻化する労働力の不足に対処して、草地管理等の作業を省力化するため、大型トラクター（約四〇馬力）を購入し、ブルドーザー、動力溝堀機等を併せ構造改善活動の焦点となる機械化センター的役割をはたす計画で、農機具格納庫も設置の予定です。

鮫川土地改良区

農協からブドーザーの運営管理を委託された土地改良区では、ブルドーザーの使用料が一般業者と比べ一時間当り五〇〇円も安いため利用希望者が多く、この運用計画にうれしい悲鳴をあげています。

また土地改良事業では、農業構造改善事業の最も集中化して行なわれる青生野江堀地内の水田を、関連事業として行われる三〇ヘクタールの区画整理のうち、すでに一九ヘクタールの事業を完了いたしました。

（産業課）

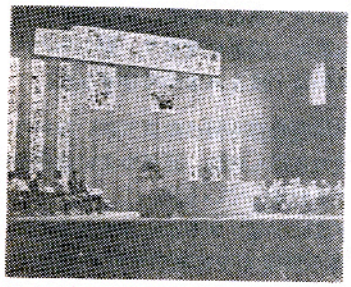


議会だより

一市二郡議員総決起大会

日本の経済は、将来新産都市圏を中心に経済が進展し、地域格差がますます拡大することが予想されるので新産業都市の指定区域外におかれた県南地方の後進地域にある共通の隘路を打開し、住みよい豊かな地域を築こうと去る八月十三日白河市民会館に国及び県会議員、県知事その他多数の来賓を招き白河市東白川郡、西白河郡関係町村議員の総決起大会が全議員参加のもとに盛大に開かれました。

本村からは浅川～勿来線、鎌田～棚倉線の県道改修促進阿武隈高冷地帯の畜産振興及び郡内電話の即時通話の実現についての三件を単独提案、又各町村から単独及び共同提案の国、県道の開発促進、国有林の解放問題、それに農業構造改善基盤整備事業費の全額国庫負担の実現等十六議案と、それに大会決議案並びに宣言案が万場一致で可決されました。これらの可決事項は早期実現を図るべく九月十日にそれぞれの上層機関に請願陳情を行いました。



牛の結核病 ブラセル病検査

（九月十一日から）

この検査をする目的は病気の予防のためですが、この病気にかかると次のような結果になる恐しい病気です。

一、結核病―牛の内蔵が犯され搾乳量は殆んどなく廃牛とするしかなくなります。この病気は牛から人間に、人間から牛に感染する病気です。

二、ブルセラ病！この病気にかかると牛は発熱と食欲の減退を起し、妊娠末期には必ず流産する病気で、人間にも感染し波状熱（熱が上つたり下つたり波の様な状態にて繰り返す病気）にかかります。この様な恐しい病気を防止するために毎年一回、一回目に受検出来なかった牛には、二回目を実施しているので必ず受検いたしましょう。この検査を受けないと家畜伝染病予防法により五万円以下の罰金に処せられます。

（産業課）

村の財政

①地方交付税

村の一般会計予算の約五八％は地方交付税を財源としています。

三十九年度分については七月に算定事務がおわり、つい先日県から交付額五千百五十四万円の決定通知がありました。

交付税は、地方公共団体である町村が、自主的にその財産を管理し、町村の固有事務や国の委任事務を処理し、町村政を執行するために要する経費の一部を国が負担する趣旨のものです。この算定は国の基準によって、その町村の当然必要とする経費が計算され、これを基準財政需要額といいます。

次にその町村で当然徴収されるべき村税収入を計算し基準財政収入額とします。そこで需要額から収入額を差引いた残りを財源不足額とするわけです。

この額は一定の調整を加えられて、地方交付税額となります。即ち国の立場から見た町村の行政水準を保つためにその町村の町村税で足りない分を国から出すというふうに解釈することができます。

交付税の需要額算定に用いる数値は、国勢調査や各種統計調査の結果及び毎年度定期に報告するその他の調査数字が基礎となりますから統計の重要なことは申すまでもありません。

今年の村の一般会計予算は八九、二七一千円（九月一日現在）で村税総額は一一、九〇〇千円ですから交付税はおよそ村税の五倍近くにもなります。しかも補助金とちがいヒモつきでありませんから、村の財政にとって、まことに大切な財源です。

（財政係長）

三十九年度算出総括表

一、基準財政需要額	六一、〇〇五千円
二、基準財政収入額	九、二二一千円
三、財源不足額	五一、七八四千円
四、調整額	二四四千円
五、普通地方交付税額	五一、五四〇千円

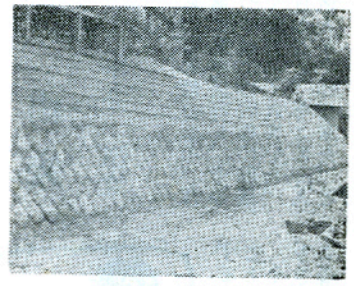
良い米を適期刈取で

出穂後は日数の経過とともに登熟が進み、その速度は気温によつてかなりの遅速がありますが、だいたい出穂後二十五日頃より完全米ができ始めます。一方胴割米は出穂後四五日頃より出始めその後日数がたつにつれ次第に増加して行きます。

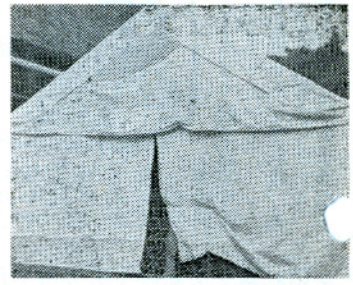
品質を良くするには未登熟米は少ない程よく、胴割米も少ないほどよい、そこで完全米がほとんど一定になり、胴割米のあまり増加してない時期が最も適した刈取り期です。その時期は気候、品種により異りますが、一般に中生では出穂後三五日～四十日です刈り遅れのないように注意して下さい。

（産業課）

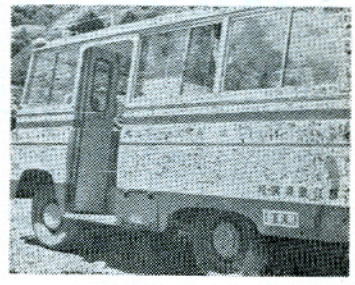
教育も産業も生活も



渡瀬小中学校の校庭の境に土留の石積工事ができ外観もキレイになりました。



養蚕も近代化され省力飼育がさかんになりテント張りの条桑育がふえました。



農村の生活改善を指導する県の「みのり号」がやつてきました。



あかるい太陽の下で農家のお嫁さんたちが栄養料理のお勉強です。

おはなのうみ (14)

県南総合開発の方向

村長　石田卯子八

常磐郡山が新産都市に指定されようとしていた頃から、この指定に入らない地域も独自の開発計画をもつべきであると、県南県北会津など、それぞれ作業を進めてきました。

県南地区は東西白河、白河市、岩瀬の一部をふくめ産業総合開発調査として、県のあつせんした財団法人日本工業立地センターに委嘱していたわけです。

最近その中間報告が出たので検討会が開かれました。

この地区は首都圏の縁辺にあり、関東経済圏の接点部にあるため、京浜経済の波及を最初にうける特異性があります。

一応東北の関門をなしているわけですが、経済や文化は環境条件によつて、定着もし繁栄もするものですから、ある地域を素通りすることは容易であり、地の利の期待はあまり重くみるべきではありません。

またいわゆる県南地区というのは、同円異中心的な性格が強く、阿武隈川流域と久慈川流域では気象、地勢、土質人情に至るまで相当の較差があります。

従つて一律に結論を出すべきではありませんが

大きくいつて白河市、矢吹町を中心とする地区は、工業分散動向をうけいれて、計画的に工業団地をつくることが大切であり、

久慈川流域地区は、農業の基盤整備を通じて、農業畜産業の振興をはかり、観光ルートの開発整備も必要であるといつております。

しかしどのような農業、どのような畜産業を進めるかということになると、やはりわれわれがこれまで考えたこと既にやつているような範囲を出ないようです。

畜産については、とくにこういつています。

畜産の中で酪農の比重は高めていくべきである——とくに西白河郡中心

肉牛飼育は草地造成の過程で一部地域で行われるほか、東白川郡の山間部を中心として推進されるべきであろう…といい、「水田酪農は将来的に限界があるのを忘れてはならない」ともいつております

中間報告検討会で私がとくに指摘したのは、山地開発、林野利用が前向きで考えられていないことでした。

この地域の山林所有農家は五ヘクタール未満のものが九〇%をこえ、単純育林経営はなり立ち難い現況にあるのでこれは農業化、畜産業化して利用開発されなければならないと思うのであります。

いずれこの調査がまとまれば、更に村内各位と十分検討の必要があり、関係市町村と実施上の協議に入るのは更に今後の問題になります。

なお新産都市といい、低開発地域といい、指定ばやりのこのごろですが、こうした拠点開発方式とは別に、国全体地方全体のバランスのとれた総合開発が考えられなければならず、ヒズミ是正の前の矯正政策が当然考慮されることを願つてやまないものです。

医療と国保

必ずもらう領収書を

最近は、ちよつとした買物の場合でも、レシート（受取書）を渡してくれます。

ところが、医療の世界になると、むかしから紙切れ一枚出されないことが多いようです。

何千円も支払つて、薬の包紙に書いた位ですませるのもあります。国保で医者にかかつた場合は三割又は五割は自己負担分として現金で支払うわけですから領収書は遠慮なくもらいましよう。医療費がかさんだ場合は後日税金の医療費控除が認められます。この場合領収書は絶対必要です一回の支払いは少額でも、たび重なればバカになりません少額でもかならず領収書はもらつておきましよう。

（住民課）

よきんせ

登録をお忘れなく

選挙権は満二〇才に達すれば日本国民である以上だれでも与えられますが、この選挙権を行使するには、選挙人名簿に登録されていなければなりません。

この選挙人名簿には、基本選挙人名簿と補充選挙人名簿とがあり、毎年九月十五日現在により基本選挙人名簿が調製されます。

この基本選挙人名簿に登録されれば、その年の十二月二十日より翌年の十二月十九日の期間に行なわれる一般の選挙に投票ができることになります。今年もその時期になりましたので、基本選挙人名簿にのせる有資格者を調査するため「選挙資格調査票」を各組長さんを通じてお配りしますから、記載の上期限までに組長さんに提出して下さい。

村選挙管理委員会では、この調査に基き十月三十日までに基本選挙人名簿を調製し、十一月五日から十五日間有権者の皆さんの縦覧に供し、十二月二十日に確定します。

調査票の記入上の注意を読み、有資格者が一人ももれないようおねがいします。

（選挙管理委員会）

おめでた

八月　出生

一日　岩の草　松崎　敦子
二日　越　虫　角田いづみ
二日　青生野　岡部　瞳
七日　青生野　大竹　良明
九日　宝　木　花田　文江
一四日　道少田　板橋二三枝
一九日　中　山　蛭田　光恵
二〇日　鍬木田　小川　吉次
二二日　遠ケ竜　森　静樹

おくやみ

一一日　蕨　平　79鈴木　ツネ
二七日　滝ノ下　72市川運四郎

告知版

鮫中体育館で敬老会

今年はじめて招待された方は明治二十八年生れのかたです。村の高令者数は昨年より十名多くなりました。七〇才から七九才まで二六四名（男一二九女一三五）八〇才から八九才まで九二名（男三〇女六二）九〇才以上三名（男一女二）です。

この日は婦人会の芸能や鮫川小学校児童の音楽で、たのしい一日がおくられました。（住民課）

秋季の家畜衛生

春秋の二回、損害防止事業のひとつとして、毎年共済組合で実施している家畜の護蹄（削蹄）、胎腔異物検査、及び健康検査を次の日程で実施します。

期間、九月七日～九月二十四日まで。

各部落毎に日程を計画し農事組合長に通知しますが、雨天の場合は新たに通知します。（西野、西山は別とする。）

今春の異物検査実施の結果

検査頭数　四五〇頭

異物が認められた頭数　一七四頭　割合三八、七％（共済組合）

好成績をおさめた県青年体育文化祭

村内多くの方々からの、カンパを戴き県青年体育文化交歓祭に参加し、全種目に好成績を納めました。

成績、陸上競技

千五百メートル四位（中川西元義）、走高跳六位（青戸代吉）

三段跳優勝（生田目定之助）

剣道

個人戦優勝（関根英也）

卓球

個人戦三回戦出場（青戸孝男）

〃二回戦出場（矢吹光男）

ソフト、相撲にあつては、グランド、コンデション悪く善戦むなしく惜敗。

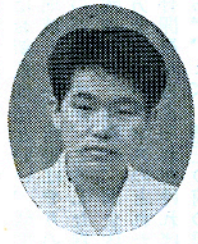
このように、多くの入賞者を出したことに自信を深め、困難な中でもこの輝やかしい記録を維持すべく努力する事を胸に秘め帰村いたしました今後の御指導と御理解の程お願い致します。（青年会）

県立竹貫病院の新しい院長さん



高橋惣右衛門先生

福島医科大学若林内科で研究、内科専門、県立宮下病院長より栄転されました。



外科の科長さん

原田　実先生

福島医科大学本多外科から着任された。専門は外科

新進気鋭の若い院長さんと外科長さんを迎え、竹貫病院は活気をとりもどし、患者も日々増加しています。

鮫小チーム優勝

夏休中のレクリエーションとして八月十日に村民運動場で開催した少年ソフト大会に男女九チームが参加して行なわれ、キビキビしたプレーで熱戦が展開され男子は鮫小チーム、女子は西野小チームが優勝しました。

塙ＯＢに惜敗

佐川県議会議長杯をかけた郡下選抜野球大会は九月六日棚倉町城跡グランドで六チームが参加して開かれ、本村の選抜チームは一回戦で棚倉商工会Ｂチームを四対一で破り準決勝に進み前年度優勝の塙ＯＢチームと対戦し、延長にもちこむ熱戦を展開したが三対二で惜敗しました。

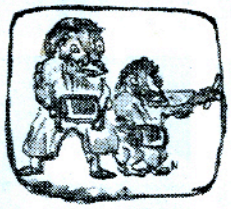
郷土の伝説 (22)

江龍田獅子舞由来

中井　恒雄

今から六百年前のころ、江竜田部落に悪疫流行し、その上三年つづけての凶作に部落民は全く途方にくれていた。

ある日のこと。そこに一人の旅の老人がやって来た。この老人はもとは相当の身分だったと想像される老人であるこの旅の老人は三人の子供を連れて「獅子舞」をさせつつやつて来たそして「獅子舞」を演ずることにより疫悪退散することができる」という。



それを聞いた部落民は、ありきりの食糧を出し合つて、この三人の子と親を部落頭〉家に泊め、もてなしながら悪疫退散と豊作を祈つたのでした。まもなく病人は次々と全快し、翌年は今までにない豊作となりました。

旅人はその後、京や四国西国の話を聞かせて部落民の親切と温情に感激しながら知らず知らず何年かをすごしたがその後、部落の人たちに部落内の円満こそ大切なことを聞き、御礼として「獅子頭」を与えて何処ともなく立去つたのでした。この後部落の人は豊作の度にそれがこの旅人のおかげであると、獅子舞を奉納して、今日の江竜田獅子舞となつたということです。

青生野小に電話

ながいあいだ公衆電話を利用して不便をかこつていた青生野小中学校に、このほど電話が入ることになりました。

番号は鮫川局三〇五一番で十月から通話できるようになります。

▶今月の納税◀

固定資産税第2期分です

納期　9月25日

納付場所　鮫川農協

忘れず遅れず納期完納に御協力下さい。

室民村

〔問〕戸籍の生年月日は訂正できますか？

私は毎日忙しい日を送つている農家の主婦です。どんなにつらくとも明日への希望をもつて、広報を見るのがたのしみです。

実はひとつおききしたいことがあります。それはＩさんの孫は昭和三十四年の四月十七日に生れたそうですが、Ｉさんの顔で昭和四十年度に小学校に上れるようにしてもらつたときますが、そんなことができるでしようか。（一主婦）

〔答〕この前にも投書がありましたので命により係が調べましたところ、このお子さんは昭和三十四年四月一日生れとして、その当時産婆さんの証明書がつけられて届出になつております。

この届は父親から成規の手続で出され、戸籍簿に登載され、白河法務局に送付されております。

戸籍の記載事項を利害関係者がまちがえを訂正しようとする場合は戸籍訂正の訴を家庭裁判所に提出して、なおしてもらうより外に方法がありません。

役場で勝手になおしたり、教育委員会が入学を早めたりすることはできない規定ですから御了承下さい。（戸籍係）

あとがき

▽ながらく愛読いただきました村出身者の「ふるさとに寄せる便り」原稿ストックが失くなりましたので、寄稿のあつたさいに掲載することにし、いちおう打切らせて頂きます。

かわりに村民室を設けましたので分らないことばかりでなく、御意見や御批判でも結構ですドシドシお寄せ下さい。

▽村では故郷を離れて各地に活躍されている方に広報を毎号送付しています。もしまだ送られていない方がありましたなら家族の方から、住所氏名を役場庶務課、公民館まで